

# 世界の栄養不足人口 —ハンガーマップ 2015

## Prevalence of Undernourishment in Development Countries



世界では今なお7億9,500万人の人々(約9人に1人)が、活動的で健康な生活を営むために必要な食料を得ることができず、栄養不足の状態にあります(2015年FAO推定)。この数は一方で、25年前に比べると2億1,600万人減少しています。

2015年は、世界の栄養不足人口の割合を1990-92年の水準から半減させること(MDGターゲット1c)等を定めたミレニアム開発目標(MDG)の達成

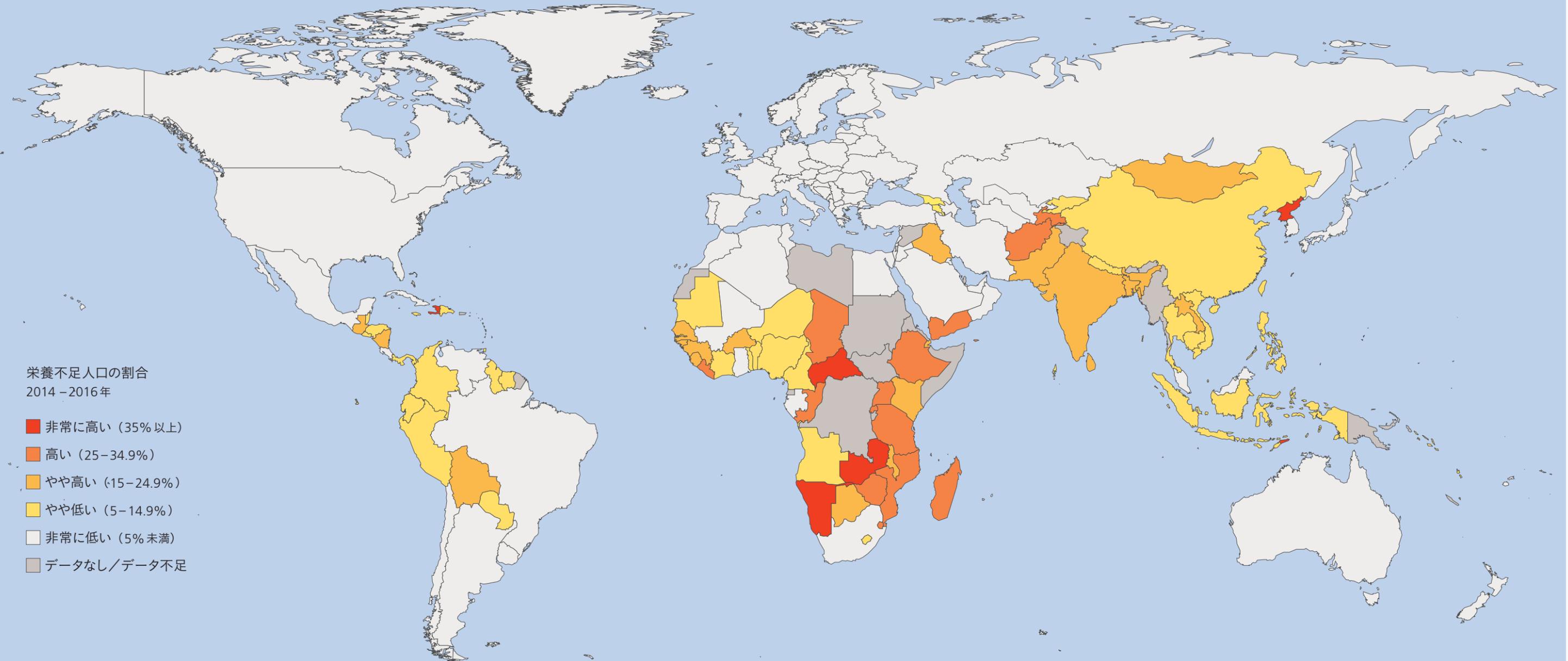
期限に当たります。この間、モニタリングを行ってきた129の開発途上国のうち、約半数の72カ国がターゲット1cを達成しました。削減に向けた進展が最も早かったのは、ラテンアメリカ、東南アジア、コーカサス・中央アジア、北・西アフリカです。

一方、南アジアやオセアニア、カリブ海諸国、南部・東アフリカでは、進展は見られたもののMDGターゲット1cの達成には及びませんでした。これら

の国々に共通しているのは、自然災害や人災、政情不安によって食料危機が長期化していることです。

国際社会は、MDGが積み残した課題に引き続き取り組むため、現在、新たな国際開発目標(ポスト2015開発アジェンダ)の策定に向けて議論を進めています。

関連ウェブサイト  
FAO Hunger : [www.fao.org/hunger](http://www.fao.org/hunger)



出典:「FAO Hunger Map 2015」FAO, 2015